

○ 此草子より草花
推し合はるる生つて居るは
白くも草花より草花に
似たり

○ 此草子より草花
似たり

紅草花より草花に
似たり

○ 此草子より草花
似たり

○ 此草子より草花
似たり

○ 此草子より草花
似たり

○ 此草子より草花
似たり

○ 此草子より草花
似たり

[illegible]

74

竹葉

所同也

草書

[illegible]
$$\begin{array}{r} 7 \\ + 5 \\ \hline \end{array}$$

今知所下意如之則天下皆入
一 李摩之志將此意也
一 明如也之志也

一 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分
二 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分

三 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分

四 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分
五 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分
六 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分
七 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分
八 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分
九 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分
十 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分

十一 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分
十二 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分

十三 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分
十四 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分
十五 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分

十六 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分
十七 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分
十八 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分

十九 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分
二十 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分
廿一 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分
廿二 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分
廿三 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分
廿四 有 廿 四 日 辰 時 一 五 分

● 石屋のてらに侍の仕へてゐる中にも
かゝるもの

● 三々五々林の間に久留花の多い所はあつた
お花の多い所はあつたお花の多い所はあつた

● 花の多い所はあつたお花の多い所はあつた
お花の多い所はあつたお花の多い所はあつた

● 花の多い所はあつたお花の多い所はあつた
お花の多い所はあつたお花の多い所はあつた

● 花の多い所はあつたお花の多い所はあつた
お花の多い所はあつたお花の多い所はあつた

五月

十一日

十五

● 花の多い所はあつたお花の多い所はあつた
お花の多い所はあつたお花の多い所はあつた

平

十之

肉骨

今為 竹下重三司 之 人

方良書

此乃吾公之書狀人所資

三子之學

30

今主浩少奉不

今之古之

白石先生之詩

宣和乙未冬月

五
五
五

中
月
之
子
安

たけなす

イロハニホトト

方氏年七十有八，其子方氏年七十有八，其子方氏年七十有八。

海防殿 奉 命 出 使 宣 慰 司 官 臣 等 謹 啟

五侯七貴皆無用
一箇閑人足自忙

信じて居るやうなアキラ

[illegible]

力

收有石以元

圖

夢曉窗中書

[illegible]

十月
 二十日
 十一月
 十二日
 十三日
 十四日
 十五日
 十六日
 十七日
 十八日
 十九日
 二十日
 二十一日
 二十二日
 二十三日
 二十四日
 二十五日
 二十六日
 二十七日
 二十八日
 二十九日
 三十日

一六八

爲之
 臨之
 爲之
 爲之

七

吃水不忘挖井人

沙石集卷之六

其年三月三日
于山陰縣南
山陰縣南

如之何如之

山梨の
 名

7

十五

[illegible]

[illegible]

[Calligraphy by Katsushika Hokusai]

子

上

去

夢

一 南書方之金名

以乞

王季子

好

幸甚也。今將以爲山中之樂。而

[illegible]

三十一

後

羽
尾
音
記
號
平

右の如く
 一
 此の如く
 此の如く

五月

十六日

十

● 友人の書

● 友人の書より別紙の書

● 友人の書より

● 友人の書より

● 友人の書より

● 友人の書より

● 友人の書より

● 友人の書より

● 友人の書より

